

助産師ワーキンググループにおける検討事項（案）

※ 将来を担う助産師に求められる能力として、以下の能力を強化することを前提として検討する。

- ・ マタニティケア及びウィメンズヘルスケアに関する以下の能力を強化する
 - a. 女性、母親・子ども・父親、家族（以下、対象とする）のライフサイクル全てにおいて、生涯にわたる健康増進・予防・課題解決のために適切かつ継続的に支援する能力
 - b. 様々なハイリスク要因を抱える対象に対応する能力
 - c. 対象の社会的背景や生活に即したニーズを統合的に捉える能力
 - d. 家族の形成や子どもの成長発達を継続的に支援する能力
 - e. 地域における子育て世代を包括的に支援する能力

- ・ 助産師としての役割をさらに発揮できるよう以下の能力を強化する
 - f. 正常からの逸脱を判断し、異常を予測する臨床推論能力
 - g. 緊急時や異常時に臨機応変に早期対応する実践能力
 - h. 対象や他職種との信頼関係を築き、協働するための高いコミュニケーション能力
 - i. エビデンスをもとに実践し、助産師として専門的に自立／自律する能力

1. 検討事項

(1) 卒業時の到達目標

(2) 教育内容

- ① 充実すべき教育内容及び留意すべき点
- ② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

(3) 教育方法

- ① 講義・演習において工夫すべき点
- ② 実習において留意すべき点

(4) 教育体制・教育環境

- ① 教員
- ② 実習指導者
- ③ 教育環境

※検討会第5回以降にご議論いただき、ワーキンググループでの検討における留意事項を整理

2. 検討上の留意事項

※ 見直しの方向性は、以下のとおりとする。

基本的には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則上の教育内容の枠組み（“〇〇学”等）を維持して見直しを行っていく。

（1）卒業時の到達目標について

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

※ 教育実態を踏まえた目標の設定を検討する。

（2）教育内容について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

① 充実すべき教育内容及び留意すべき点

【基礎助産学】

- a. ICT リテラシーを高める必要性
- b. 家族に対して支援する能力の充実
- c. マタニティケア能力の充実
- d. ウィメンズヘルスケア能力の充実

【助産診断・技術学】

- a. ライフサイクル各期における女性、母親・子ども・父親、家族に対する相談及び支援能力の充実
- b. ハイリスク要因をもつ女性、母親・子ども・父親、家族に対するケア能力の充実
- c. 性の多様性及び不妊を含む健康課題に対するケア能力の充実
- d. 妊娠・分べん・産じょく・新生児期におけるアセスメント能力と自立／自律的に対応する能力の充実
- e. 分べん進行に伴う異常発生を予測し、予防的に行動する能力の充実
- f. 出生直後からの愛着形成を支援する能力の充実

【地域母子保健】

- a. 地域における子育て世代を包括的かつ継続的に支援する内容の充実
- b. 地域の自主活動グループや関係機関、多職種との連携に関する内容の充実

② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

(3) 教育方法について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

※ 教育効果の評価の重要性を念頭に置いて検討する。

① 講義・演習において工夫すべき点

- a. 対象の力を引き出すコミュニケーション能力を身につける演習の充実
- b. 実習場面を想定した場やシミュレーション教育等の工夫及び活用
- c. アクティブラーニング等の教育方法の工夫及び活用
- d. ICT の活用

② 実習において留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

- a. 分べん第一期からの分べんの進行状態を観察・アセスメントし、変化に対応する能力の充実
- b. 地域における子育て世代を包括的かつ継続的に支援する能力の充実

(4) 教育体制・教育環境について

① 教員

② 実習指導者

③ 教育環境